

きずなの郷

第36号
2011 夏

発行 社会福祉法人 厚生協会

平成23年8月10日

目 次

被 災 地 支 援

被災地支援	1
事業報告	2
決算報告	5
合同花見会	6
利用者紹介	7
新職員紹介	7
各施設の活動	
わかふじ寮	8
やすらぎ荘・ 新得やすらぎ荘	9
屈足わかふじ園	11
ひまわり荘	12
地域貢献活動・ お知らせ	13
ご寄付・ご寄贈	14
編集後記	14

三月十一日に起きた東日本大震災。発生してから五ヶ月経過しましたが、テレビ・新聞などのメディアからの情報でもわかるように、被災地の惨状には今もなお言葉を失います。

地震が起きたから、厚生協会としても様々な支援を行つてきました。

物資の支援としては、全国社会就労センター協議会からの要請に応じて、センター協議会からも多くの要請に応じて、物資リストに基づき、衣類や使い捨てマスクなど数にして一〇六個口の支援品を被災地へ送らせていただきました。義援金については、法人の役員をはじめ全施設の職員から募金を集めました。又、職員に対して募金活動を行つていたところ施設の利用者からも、利用者からも多くの募金を頂きました。義援金の総額は、一、一二一、六四四円になりました。

設が加盟している全国社会福祉協議会、全国社会就労センター協議会、全国障害者福祉施設協議会、全国老人福祉施設協議会等の団体を通じて送金さ



物資を被災地へ



第一陣 みやぎ北部支援センターへ



第二陣 被災地での支援中に一枚

せていただきました。その後、主に被災地の障害者の支援活動を行つている日本障害フォーラム（JDF）から全国社会就労センター協議会を通して、厚生協会に人員の派遣依頼があり、わかふじ寮と屈足わかふじ園から各二名が、四月二十九日から五月九日まで、宮城県登米市の障害者施設に設置されている「みやぎ北部支援センター」を拠点に支援活動してきました。

東日本大震災で被災された皆さまに心からお見舞い申し上げますと共に、一刻も早い復旧をお祈り申し上げます。

活動内容は、障害者関係の事業所の被害・損壊状況の把握、障害当事者の被災状況やニーズの把握、訪問による被災当事者のニーズ調査、必要な支援物資の調査と物資の配布などで、短い期間ではありましたが支援活動を行つてきました。

また第二陣として六月三日から十四日まで、やすらぎ荘の二名が、被災者を受け入れている仙台市内の特別養護老人ホーム仙台楽生園で、被災し避難された方の心のケアを中心とした生活支援を行いました。

平成22年度 事業 報 告

■法 人 本 部

民主党の政権下、社会保障の安定・強化のための具体的な制度改革案、及び必要財源の安定的確保と財政健全化を同時に達成するための税制改革について23年半ばまでに成案化することが平成22年12月14日に閣議決定された。

障害福祉の分野では、12月3日に鳩山首相の退陣により一度廃案になった改正障害者自立支援法が成立した。また12月8日には障害者制度改革推進会議が設置され、総合福祉部会で新制度に向けた検討が開始された。

介護保険の分野でも介護保険部会で、第5期介護保険事業計画に向けた制度の見直しが検討され、今後国会で法改正が議論されることになっている。

3月11日に発生した東日本大震災は東北地方を中心に甚大な被害をもたらしたが、本法人としても災害支援の一環として法人役員をはじめ施設、利用者、家族会の協力、職員から義援金を募り全国社会福祉協議会等に送金した。また全国社会就労センター協議会からの要請により被災施設支援用に日用品等の物資を送付した。さらに日本障害フォーラムからの要請に基づき被災地への職員派遣登録を行った。(23年4月30日から5月8日まで被災地へ支援活動を行った。)

このような状況の中、本法人として22年度中に次の事業を実施した。

1. ひまわり荘の移転改築工事の着工（8月4日、23年8月31日竣工予定）
2. 共生型共同住宅さくらの開所及びさくら2の建設準備
3. 庶務規程等の諸規定の整理・統合の実施
4. 聴覚障害者養護老人ホームやすらぎ荘老朽改築の検討と計画化
5. 地域貢献と社会貢献活動の推進
(道路公園美化清掃、全町的イベント参加、新得・屈足消防団入団)
6. 理事会の開催（7回）、建設委員会の開催（6回）、監事の監査（4回）、評議員会の開催（3回）、役員研修（5回）、顧問契約（松浦弁護士、富士道公認会計士）本部各専門部会（管理部会、施設・在宅事業部会、就労センター部会、研修部会）

■わかふじ寮・第2わかふじ寮・わかふじワークセンター

利用者への支援の中心となる個別支援については、モニタリングを定期的に実施し、支援内容の見直しや確認を行いながら実施した。

障害者の一般就労に向けた道は厳しい状態であるが、1名について一般就労に繋げることができた。

障害者の地域生活については、高齢者と障害者が地域において共に暮らせる共生型ホームさくらが6月に完成し、4名の利用者が入所施設から地域生活へ移行した。これに伴いわかふじ寮の施設入所支援の定員を40名から34名に減員した。

共生型ホームについては2棟目の建設を計画し、共生型住宅の建設に向けての事業を進めた。1月に内示を受け、4月に工事が着工（平成23年8月完成予定）する事となった。利用予定者は現在施設に入所されている方であり、障害者の地域生活がさらに進んでいくと思われる。

【1】介護部門

- ・個別支援計画に沿って支援を実施しており、定期的にモニタリングを重ねながら進めた。

【2】就労移行部門

- ・就労支援ネットワーク会議等に参加し、連携及び地域でのネットワーク作りについて情報収集を行なった。
- ・就労プログラムに基づき一般就労に向けた支援を行った。
- ・地域生活移行・地域生活技能への支援を行った。

【3】医療部門

- ・7月にミニ人間ドックを受診した。乳がん・子宮がん検診は8月、3月に施設利用者が受診した。
- ・11月にインフルエンザ予防接種を実施した。流行時期には早めに声かけをし、手洗い、うがいの徹底を行った。

【4】食生活部門

- ・温食・冷食の実施については、温蔵庫を使用した。

【5】地域交流・地域解放・関係団体との交流・広報活動

- ・毎週木曜日、職員が講師として参加し、手話サークルの支援を行った。又行事にも参加を呼びかけた。

【6】授産事業

- ・現在も続く日本経済の不況のなか、公共事業・補助金削減や資材高騰などの影響を受け、厳しい活動であったが、「売上確保」「利益向上」「コスト削減の強化」「仕事量の確保」を目標に事業振興に取り組み、当初の目標金額を大幅に越えられた。

■さくら

利用者への支援の中心となる個別支援については、個別支援計画に基づき、地域生活が安定して行っていくことができる様に、地域で生活を送る上でのルールを基本とし、個々の生活だけでなく、周囲のことも考慮しながらお互いに協力することを中心とした支援を行った。

食生活については家庭的かつ偏りのない食事を提供する事を基本とし、利用者の嗜好について日々の献立に反映できる様に対応した。

【1】地域生活

- ・個別支援計画に沿って支援を実施しており、定期的にモニタリングを重ねながら進めた。

【2】食生活

- ・入所施設での献立を参考にしながら、予算の範囲内で家庭的な食事を提供した。

■聴覚障害者養護老人ホーム やすらぎ荘

施設は、老人福祉法及び関係法令及び通知の改正に基づき、利用者の自立支援の為のソーシャルワーク機能を強化し、利用者の生活意欲の増進等を図り、生きがいをもてる健全で安らかな生活ができるように支援した。また、市町村などの関係機関と密接な連携を図った。

平成21年2月1日より個別契約型から特定施設入居生活介護型への移行後、法令を遵守し、より一層良いサービスが提供出来るように努めた。また、虐待防止の徹底や新型の感染症の防止等、時代に即した処遇、サービスの提供に努めた。

認知症を抱えた利用者の対応方法を確立する為、施設内研修の他に支援員ミーティング時にB S法を活用し、認知症を抱えた利用者の対応方法について検討を行い、対応の統一を図った。

利用者の定期健康診断では、清水赤十字病院にて少人数毎に胃カメラ検査を実施し経過観察をしている。

■特別養護老人ホーム 新得やすらぎ荘

施設は、利用者に対しての解決すべき課題を把握し施設サービス計画に基づき、利用者の自立の支援及び日常生活の充実に資するよう、心身の状況等に応じて、入浴、排泄、食事等の介護、相談及び援助、社会生活上の便宜の供与その他の日常生活上の介護、機能訓練、健康管理及び療養上の介護等の施設サービスを提供してきた。

個人の尊厳を重視した質の高いサービスを提供するように努め、明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家族との結び付きを重視した運営を行い、市町村、居宅介護支援事業者等の関係機関や他の介護保険施設又は医療機関との連携を図った。

ターミナルケアについては、外部研修に参加する等して力を入れた。看取りの対応については、週1回看取り会議を行いその人らしい最後が迎えられるよう、各部門との連携を強化した。

昨年度の介護保険の改定では、人的な体制加算が主であり、取得可能な加算については申請を行い、加算取得を継続できる体制の整備に努めた。また、リスク管理に重点を置き、事故防止に関する施設内研修の複数開催し、各種マニュアルの見直しを行った。

地域の高齢者が住み慣れた地域で生活を続けられるようショートスティの空室状況を連絡し有効に活用していただき、在宅支援に努めた。

■訪問介護事業所 新得やすらぎ荘

利用者の望む在宅生活が送れるようにそのニーズを分析し、利用者が利用しやすい訪問事業所となるよう一層の努力を行ってきた。そして利用者の有する能力が発揮できる対応に心がけ、関連機関との連携を密に取り在宅生活の支援をしてきた。新たな取り組みとして特定施設（ひまわり荘）とヘルパー利用契約を結び、特定施設の利用者へサービスを出来る限り開始してきた。

自家用自動車有償輸送についても対象利用者より依頼を受け外出支援を提供してきた。

■居宅介護支援事業所 新得やすらぎ荘

介護保険制度は平成12年のスタート以来、在宅サービスを中心に、老後の安心を支える仕組みとして定着してきた。居宅介護支援でも専門的で質の高い介護サービスの提供や、医療と介護の連携を期待されている。

当事業所においても介護保険法令の趣旨に従い、利用者と家族の意向に沿って、専門職として総合的なケアマネジメントを基にプランの作成を行ない、各サービス提供事業所や行政等他職種の連携、調整を図る事で、適切な介護サービスや福祉サービスの利用ができるよう努めた。

また制度情報の把握やケアマネジャーの資質向上のため研鑽し、利用者や家族に対し総合的支援を続けてきた。

■日帰りサービスセンターやすらぎ荘

デイサービスでは、機能向上、栄養改善、口腔機能の向上の選択的サービスを実施し、利用者の希望に合わせて提供できる体制作りを行った。栄養改善については、希望が得られずサービス提供には至らなかったが、栄養改善の大切さ等について利用者の理解が深まるような工夫を行い、低栄養状態が疑われる方に対して、体重測定を隨時行った。

また、昨年度から学習療法を開始し多くの利用者が取り組んでいるが、継続的に続けていただけるように職員の指導力等の向上に力を入れた。更に、利用者のニーズに合わせたレクや趣味活動の多様化、男性利用者向けサービスの充実を図り、利用者に喜ばれるデイサービスを目指した。

週3回の午後デイは、利用者が定着してきたので、より内容の充実を図り利用者に楽しんで頂けるよう努めた。その他に職員の施設内研修、外部研修の機会を多くもち、職員のモチベーションの向上に努めた。

■清水デイサービスセンターやすらぎ荘

デイサービスでは、慣れ親しんだ地域で、生きがいをもって生活していただけるよう、在宅での日常生活動作支援を重視し、転倒予防、認知症や廃用症候群等リハビリテーションを目的とし、専門職の理学療法士が、個人個人の状態、希望に添ったサービス提供ができるようリハビリの計画・実施・評価を行った。

又、希望に応じて公文学習療法を行った。

■養護老人ホーム ひまわり荘

老人福祉法、介護保険法を遵守し、利用者の自立支援と尊厳を守りながら、「安心と信頼」など、利用者主体の介護サービスの提供に努めた。

特定施設入居者生活介護利用者は、状態にあわせた介護サービスが利用できるよう、法令を遵守しより良い介護サービスが提供できるよう努めた。

【介護部門】

- ①毎月個別支援計画、ケアプラン検討委員会を開催し検討を行い、介護員ミーティングや担当者会議で周知、連携を図った。
- ②毎日介護員ミーティングを行い、全職員への周知、徹底を図り、個々に合ったサービスが提供できるよう努めた。

- ③居室内など、本人の状態に合わせた対応ができるよう、検討し対応を行った。
- ④家族が来られた時は椅子を用意し、大勢の面会時は別の部屋へ案内するなど、面会しやすい雰囲気づくりに努めた。
- ⑤利用者から外食する機会が少ないとの意見を基に、日帰り旅行の回数を増やし、普段クラブに参加しない利用者も参加できる内容にするなど工夫を行った。
- ⑥今年度から、暖かい時期は外でラジオ体操を行い、天候に合わせて10月まで施設周辺の散歩を行った。

【看護部門】

- ①入退院時、病状の把握を行い、迅速に家族への連絡を行った。また家族から相談を受けた場合、関係機関と調整を行い家族の意向に添った対応をした。
- ②糖尿病、感染症（インフルエンザ、急性胃腸炎）に関する説明をひまわり会にて利用者に伝え、理解不十分の方には利用者個々にも説明を行った。

【給食部門】

- ①誕生日に利用者の嗜好を聞き取り、誕生会の献立に反映した。
- ②食事委員会のアンケートも反映させ、年齢と健康に配慮し、出来るだけ希望に添えるようにした。

【ひまわり荘改築にむけて】

- ①補助金申請、入札、契約等を行った。
- ②備品調達に向け、各部門ごとに必要物品の検討を行った。
- ③着工後、週1回建築定例会を行い進捗状況等の確認を行った。
- ④進捗状況を利用者に解るように、掲示した。

■訪問介護事業所 ひまわり荘

介護保険法等の関係法令を遵守し、介護計画書（ケアプラン）に基づいた介護サービスの提供を行った。

特定施設入居者生活介護事業所の利用者の希望、要介護度や身体上の状態、生活環境に応じて、身体介護、生活支援を行った。月1回担当者会議を行い、サービス内容の見直し、検討を行い日常生活の支援に努めた。

- ①利用者の状況を把握し、職員間で連携し、介護サービスの提供を行った。
- ②課題や問題点を把握し、介護員ミーティング等で検討を行った。

■屈足わかふじ園

障害者自立支援法に基づく新体系に移行し、障害者支援施設（生活介護・施設入所支援・短期入所）の事業を展開した。

サービス提供では個別支援計画に基づき、個々のニーズに応じた支援を実施し、定期的にモニタリングを行う事で支援内容の見直しや確認を行った。

生活面では余暇活動の見直しを図り、利用者の意見を聞き、外出行事等の活動を多く取り入れた。又、新たな日中活動として生産活動を開始し日常生活の支援だけでなく働く支援も行った。

【1】介護部門

- ・業務改善委員会を中心に介護に関するマニュアルの見直しを行うと共に、各種研修会に参加した職員から職員会議などで伝達研修を行い介護技術の向上に努めた。
- ・職員同士声を掛け合い、連携を密にして事故防止に努めたが、前年度より全体報告数が20件程増えた。引き続き、ヒヤリハット報告書を活用し、大きな事故につながらない様、統一した意識をもって介護を行った。

【2】医療部門

- ・利用者の心身の状態把握に努め、異常時には速やかに対処し、毎週回診時には適切な情報提供を行った。
- ・インフルエンザが発症した際、感染症対策委員会を中心に感染予防マニュアルに沿って対応することで、二次感染の発症者の拡大を防ぐことができた。

【3】給食部門

- ・嗜好調査については随時行った。また給食運営会議に利用者の代表3名に交代で出席して頂き、給食の提供について聞き取りを行い確認した。
- ・行事の時にはテーブルの配置を換えたり、飾り付けをしたり、普段と違う雰囲気作りが出来るように工夫した。
- ・定期的にジンギスカンや鍋などテーブルを囲み、料理しながら食べられる行事を取り入れた。
- ・昼食と夕食時に副食を保温庫で保管し、食事直前に配膳を行い温食の提供を行った。

【4】リハビリ部門

- ・新規入所者をはじめ、利用者個別の訓練計画を立て、個別支援計画書に反映させた形で進めることができたが、日常生活動作の拡大は図れず課題が残った。
- ・月2回、介護スタッフ・柔道整復師と北斗病院の理学療法士とによる身体状況確認と訓練メニューの評価を行いながら進めることができた。

【5】生活支援部門

- ・個々の個別支援計画の策定と6か月ごとの支援計画のモニタリングを実施する事で支援内容の見直しなどで、利用者のニーズに沿った生活支援の実現に向けたサービスの提供ができた。
- ・入所前面接の際に説明を十分に行い、施設の情報を提供し、利用者や家族の理解を得て契約を行った。
- ・利用者からの困り事や相談があった際には、随時受け入れ、個別に相談を行うなどの対応を行った。

【6】防災関係

- ・避難訓練を2回実施し、その内1回は夜間を想定した訓練を行った。

【7】研修関係

- ・法人・施設内外の研修会には可能な限り積極的に参加し、研修後は必要に応じて、報告書を提出し、職員会議では研修報告を行い、参加していない職員にも伝達研修を行った。

【8】事務管理部門

- ・コスト削減の意識は職員への伝達により、若干ではあるが浸透した。しかし、施設全体にわたっての意識は定着していない、課題が残った。

平成22年度決算報告

平成23年3月31日

財産目録

(単位：円)

資産の部		
科 目	摘 要	金 額
流 動 資 産		792,089,765
固 定 資 産		3,830,814,316
資 産 合 計		4,622,904,081

負債の部		
科 目	摘 要	金 額
流 動 負 債		203,297,892
固 定 負 債		332,723,453
負 債 合 計		536,021,345
差 引 正 味 資 産		4,086,882,736

貸借対照表

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	792,089,765	流動負債	203,297,892
固定資産	3,830,814,316	固定負債	332,723,453
		基本金	14,500,000
		国庫補助金等特別積立金	1,777,484,814
資産合計	4,622,904,081	その他の積立金	497,873,863
		次期繰越活動収支差額	1,797,024,059
		負債純資産合計	4,622,904,081

事業活動収支計算書

科 目	金 額
介護保険収入	452,380,265
利用料収入	86,059,434
措置費収入	256,741,574
その他の事業収入	0
自立支援費等収入	586,089,277
補助事業等収入	23,040,415
経常経費補助金収入	0
寄附金収入	12,336,224
雑収入	11,248,482
借入金元金償還補助金収入	19,330,000
借入金利息補助金収入	2,375,098
経理区分間繰入金収入	84,900,512
受取利息配当金収入	467,879
授産事業収入	147,472,202
施設整備等補助金収入	429,985,875
補助金等特別積立金取崩額	55,000,016
収入合計	2,167,427,253
人件費支出	783,113,092
事務費支出	203,588,003
事業費支出	233,660,701
借入金利息支出	4,170,790
経理区分間繰入金支出	84,900,512
授産事業支出	151,270,885
その他の支出	0
国庫補助金等特別積立金積立額	36,469,975
引当金繰入	14,914,640
減価償却費	82,648,245
固定資産処分損	0
支出合計	1,594,736,843
当期活動収支差額	572,690,410
前期繰越活動収支差額	1,335,433,649
その他の積立金取崩額	0
その他の積立金積立額	111,100,000
次期繰越活動収支差額	1,797,024,059

資金収支計算書

科 目	金 額
介護保険収入	452,380,265
利用料収入	86,059,434
措置費収入	256,741,574
その他の事業収入	0
自立支援費等収入	586,089,277
補助事業等収入	23,040,415
経常経費補助金収入	0
寄附金収入	12,336,224
雑収入	11,248,482
借入金元金償還補助金収入	19,330,000
借入金利息補助金収入	2,375,098
経理区分間繰入金収入	84,900,512
受取利息配当金収入	467,879
授産事業収入	146,769,984
施設整備等補助金収入	429,985,875
固定資産売却収入	0
積立預金取崩収入	0
収入合計	2,111,725,019
人件費支出	783,113,092
事務費支出	218,502,643
事業費支出	233,660,701
借入金利息支出	4,170,790
経理区分間繰入金支出	84,900,512
授産事業支出	149,225,102
流動資産評価減による資金減少額	0
積立預金積立支出	111,100,000
借入金元金償還金支出	27,570,000
固定資産取得支出	428,725,148
投資有価証券取得支出	0
予備費	0
支出合計	2,040,967,988
当期資金収支差額	70,757,031
前期末支払資金残高	518,034,842
当期末支払資金残高	588,791,873



ジンギスカン美味しい～☆



カンパ～イ



飾りの下ではありますが、花見の雰囲気を味わいました。



久しぶりの家族との団らんで、食事も会話も弾んでいます。

五月に全施設で花見を行いましたが、どの施設ともありにこの雨、ご食堂で行いました。屋外でできなかつた分、食堂内を桜の花びらや桜の木で飾り付け、その雰囲気を出しこの食事会となりました。



やすらぎ荘の桜は春満開♪



室内の花見だけど、味は大満足!



わかふじ寮

平成23年5月7日



次の日は5月8日の母の日なので…
☆お母さんいつもありがとうございます★



新得やすらぎ荘

平成23年5月7日



「やっぱりジンギスカンはおいしいね」

「早く焼けないかなあ…」

わかふじ寮

工藤 佑介 さん



生年月日 平成2年6月5日
出身校 北海道高等聾学校専攻科
配属先 木工家具
趣味 ゲーム



向井 啓悟 さん

生年月日 平成4年9月25日
出身校 北海道高等聾学校
配属先 木工家具
趣味 ウォーキング・パソコン



浜田 康平 さん

生年月日 平成5年1月9日
出身校 東京都葛飾ろう学校
配属先 木工家具
趣味 野球・ゲーム

ひまわり荘

村上 ヒデ子 さん



平成23年2月27日に入所されました。「みんなと仲良く過ごしたいです」と話されていました。



小笠 キク子 さん

平成23年2月28日に入所されました。「楽しく過ごさせて頂いています」と話されていました。

新職員紹介

わかふじ寮

青木 貴大 (介護員)



介護員として採用になりました。まだわからぬ事がたくさんありますが、一つ一つ覚えていきたいと思っていますのでよろしくお願ひします。



米田 有位 (技術指導員)

工場で木工家具の作業を行なっています。仕事もそうですが、手話も一緒に覚えるようにがんばります。よろしくお願ひします。

やすらぎ荘

広瀬 純乃 (支援員)



この度、4月から聴覚障害者養護老人ホームやすらぎ荘に配属されました。聴覚障害を持っている方とのコミュニケーションは難しい事も多々あり、困惑する事もありますが、この仕事にやりがいを感じており職員の方も丁寧に指導してくれるので、日々充実して仕事をさせて頂いています。これから勤務で勉強していく、利用者の方々に満足のいくサービスを提供できる様に努力して行きたいと思っておりますので、宜しくお願ひします。



佐藤 淳 (支援員)

今年の4月から聴覚障害者養護老人ホームやすらぎ荘の生活支援員として勤務しております。全国に数カ所しかない老人福祉施設で働きかけて頂ける事を嬉しく想い、誇りに感じております。手話を用いて会話する機会がなかったので利用者の皆さんとコミュニケーションが上手く囁れない事が多くありますが、自分が選んだ職務に責任を持ち、様々な経験をしていきながら精進していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひ致します。



植田 茜 (支援員)

今年の4月から養護老人ホームやすらぎ荘で働き始め、右も左も分からぬ私ですが「笑顔を忘れないこと」を常に頭に置きながら働いていきたいと思います。手話を使用する事が初めてなので利用者の皆さんとコミュニケーションを図る事が大変でしたが、少しずつ覚えて利用者の皆さんにとって身近な存在になれる様に努力していきたいと思っています。これから多くの知識や技術を吸収して今後に繋げていきたいと思っていまので、よろしくお願ひします。

新得やすらぎ荘

小野 康司 (介護員)

4月から環境も一変し、自分の知らなかつた知識を得る事が出来、毎日が充実しています。しかし、実際に仕事をしてみると慣れない事だらけで大変ですが、自分自身の目標として「見る・聞く・考える」を念頭に置き、頑張っていきたいと思います。

杉森 麻那 (介護員)
4月から新得やすらぎ荘の介護員として働いています。わからない事だらけですが、1つずつ仕事を覚えて利用者の方のためにできる事を増やしていきたいです。宜しくお願ひします。

小沢 司 (介護員)
介護の仕事は初めてですが、早く仕事に慣れる事が出来る様に頑張りたいと思います。又、利用者の皆様と関わる一日一日を大切に過ごしていきたいと考えております。

屈足わかふじ園

山本 紗永佳 (介護員)

4月から介護員として勤務させて頂いている山本と申します。まだわからぬ事が多く、先輩方に教えて頂いてばかりの毎日です。早く、屈足わかふじ園の職員として利用者・職員の皆さんのがんばるよう頑張っていきたいです。笑顔で元気に毎日勤務していきたいです。よろしくお願ひします。

西田 ひとみ (介護員)
4月より屈足わかふじ園で勤務しております。新得町には3月に引っ越ししてきたばかりです。
仕事も生活も新しい事ばかりで不慣れですが、一生懸命頑張っていきますので、よろしくお願ひします。

太田 梨那 (介護員)
4月から屈足わかふじ園で働いています。
介護福祉士の資格を取得する為に、専門学校に通いながらの勤務になりますが、どちらも精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。

田中 豪太 (介護員)
4月から屈足わかふじ園で介護員として働いています。日々、利用者の方や先輩職員からご指導をいただきながら働いており、早く一人前になれるように一生懸命頑張ります。

日本ハム野球観戦 ~弁当片手にがんばれ~

今年も「日本ハムファイターズ」様より『福祉シート』のご招待がありました。さっそく、昨年、一昨年に続いて無類の野球好き利用者7名が、職員2名と共に、4月15日の対ロッテ戦の観戦ツアーに出発。札幌までの道中にお菓子を大量に購入し応援する準備も万端でいざ札幌ドームへ。

迫力ある生の試合に落ち着かない様子の利用者や、とにかく売店に目がない利用者など、それぞれ楽しんでいる様子でした。見ごたえ十分の息詰まる試合展開で見事、今季初勝利。特別な試合を観戦する事ができ利用者（むしろ職員）はとても喜んでいました。日本ハムファイターズ様、楽しい時間をありがとうございました。



夕食はファイターズ弁当



今季見事初勝利～☆

グループ活動 ~みんなで外出~

土曜日の午前中を利用し、5つのグループに分かれ、利用者の要望を聞きながら、それぞれ活動を行っています。

今回はカフェにお出かけしたグループをご紹介します。訪れたところは、新得町内の「ヴィレッジ432」です。



早くケーキ来ないかな♪♪



ご満悦♪



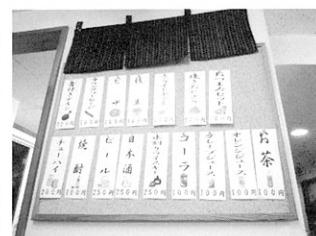
いやし犬

居酒屋ふじ ~今夜は無礼講~

月に1、2度、利用者自治会主催で居酒屋の雰囲気を楽しめるように開催しています。利用者にも好評で毎回多くの方が参加しています。



「ふじ」開店



メニュー表☆



みんなで仲よく



真剣です。



うまい!!もう一杯

町内外食～選んで嬉しい楽しいお食事会～

3月7日から9日の3日間でグループに分かれて、町内外食の行事が行われました。

今回は利用者の皆さんからリクエストで「出前注文」という取り組みを行ったところ、約20名の方が希望されました。

今回は町内の「石松」「せきぐち」「暖笑」と3店舗の協力を頂き楽しいランチタイムを過ごす事ができましたが、サンドウィッチの出前を希望された利用者の分は町内では対応できずに隣町にある清水町のパン屋に協力を頂きました。やすらぎ荘では初めてとなるサンドウィッチの注文で、どの様な物が届くか楽しみにしておりました。当日届いた時には色々な種類の物が入っていてボリューム感があり、いつも小食の方も軽々と口に入れて喜ばれている様子が見られました。

実際に外食に出られた方も出前注文を行った方も、皆さん自分が好んだ食事をする事ができて大変喜ばれておりました。



握り立ての
あ寿司は最高!



やっぱり一番人気はあ寿司☆

温泉外出～眺めはサイコウ、いい湯だねえ～

5月17日に利用者5名と職員3名で、くつたり温泉レイク・インへと出かけました。

少し肌寒い日でしたが皆さんは笑顔で大浴場へと向かい、温かい湯船につかり日頃の疲れを癒している方、露天風呂で外の景色を眺めながら入られている方とそれぞれ満足げな表情が見受けられました。

入浴後にはホテル内のレストランで各々が好む物を注文され「美味しいねえ」等と嬉しそうに話しながら食されていました。

町内の外出となりましたが、参加された皆さんはとても楽しまれていらっしゃいました。



美味しい料理に大満足♪



温泉に入って若返りました!

お好み焼き作り～みんなで楽しく美味しくお料理日～

3月11日にお料理日が開かれ、今回はお好み焼きを作る事にしました。

黄色いエプロンを着けて白い調理用帽子をかぶり、手洗いを行った所で調理を開始しました。料理という事で女性の方の参加が大半でしたが、男性の方も積極的に参加されていました。大きなボールに入った材料を混ぜ合わせるには力がいるので男性陣が活躍され、焼いている時には女性が微調整を行いながらひっくり返したりするという役割分担を決めてお好み焼きを作りました。

グループの中にはホットプレート全面に材料を広げてしまいひっくり返すのに悩んでいる方や何度も蓋を開けて焼き上がりを楽しみに待っている方もいました。上手にひっくり返す事ができると大きな拍手が聞こえ、みなさん楽しめている様子が見られました。

完成したお好み焼きは昼食時に出され、「マヨネーズ」「ソース」「鰹節」等をお好みでかけて美味しく頂く事ができました。



男性陣大活躍!!



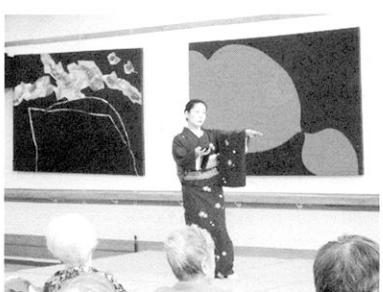
美味しくできたかな?

日本舞踊～古典芸能に触れて～

3月12日土曜日に面出明子(めんであきこ)さんがやすらぎ荘に踊りの慰問に来て下さいました。

面出さんは花柳流の本格的な日本舞踊を踊っている方です。やすらぎ荘へは、職員と関わりがあり、是非やすらぎ荘で踊りを見せて欲しいとお願いし、今回の慰問が実現しました。

曲目は、河内男節など皆さんが良く知っている曲から、黒髪という日本舞踊の本格的な長唄の曲まで披露して頂きました。利用者の皆さんの中には本格的な日本舞踊を見るのが初めての方もあり、その素敵な立ち振る舞いや姿に利用者の方も職員も感動しました。



「一つ一つの動きに
目を奪われました」



「ステキな踊りに
視線が釘付けです」

長寿の祝い

～今日のお祝い、そして 新しい願い～

3月25日は、12月～3月生まれの《白寿》 平下セツさん 《卒寿》 清水百合子さん 松浦ミヨさん 《米寿》 鈴木美津子さん 鈴木マサ子さん 花房キミ江さん（特養利用者）。《古希》 鐘ヶ江紀雄さん 水上春子さん（養護利用者）の合わせて8名の方のお祝いでした。

お祝いされる方にちゃんとこを着て頂き、施設長から記念品をお渡しました。そして、ご家族や職員と一緒に写真を撮り、皆さん笑顔でした。

暖かな雰囲気でお寿司を食べたり、お話をしたりして楽しい一時を過ごしました。

お祝いされた方々もますます元気に年を重ねられ、「次のお祝いの時も参加できると良いなあ。」と家族や職員に話されていました。



「あめでとうございま～す」



「今日の主役は私達です」

日帰りサービスセンターやすらぎ荘

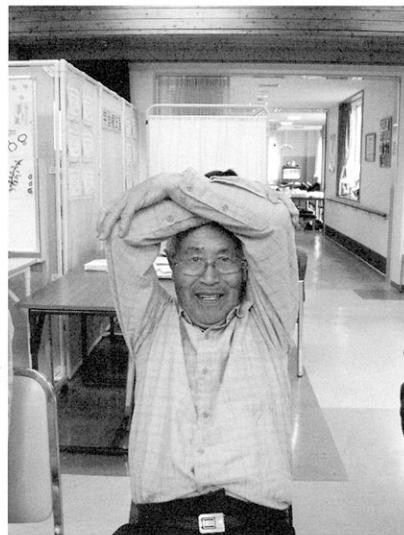
みんなで集団体操

月曜日～土曜日まで毎日14時30分～15時までリハビリ体操をしています。今年の5月からは養護の方を交え、多い時では総勢30名でリハビリ体操をしています。

内容は主にストレッチを中心とし、機能的な体操・時にはゲームを交え、笑いのある時間を過ごしています。

始めはしぶしぶ参加されていた方も、今ではリハビリ体操の時間になると「さて、行くか」「がんばるぞ」とリハビリ体操を楽しめています。

今後も利用者の方に喜んで頂けるよう楽しめるリハビリ体操の時間を作りたいと思います。



体操をして、心も体もリフレッシュ!

開所記念夕食会

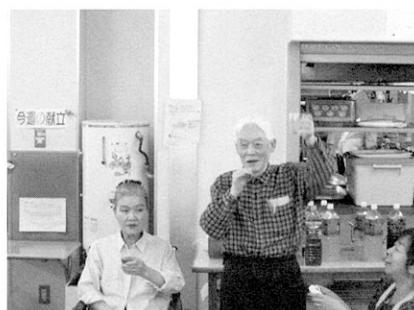
～永き歴史に感謝とお祝い～

4月1日に毎年恒例の開所記念夕食会が開かれました。今年度で「やすらぎ荘」が30周年「新得やすらぎ荘」が21周年となっております。

永い歴史がある中で利用者の皆さんや職員達は今日という日を迎えた事に感謝をし、美味しい料理を味わい頂きながらお祝いしました。

昨年度も利用者の皆さんに「食堂のお手伝い」や「清拭作り」等のお手伝いをたくさんして頂きました。施設長からささやかではありますが手作りの感謝状をお手伝いを頂いた利用者の方々へお渡しました。

また来年度も笑顔で元気に開所記念夕食会を迎える様に、精一杯前へ進んでいきたいと思います。



「カンパ～イ」



「感謝状もらって、はいポーズ」



「これからも頑張ります」

ミニディサービス

桜見学

5月17日・19日・20日午後ディサービスで花見ドライブに行きました。

今年は開花が遅く5月に入つてから「まだかな～」「いつ咲くのかな～」と毎週のように話をして、ついに待ちに待った開花。

出発前からとても楽しみにされていて、新得山に車で登り、境内より桜ごしの新得の町を眺め、その後は町中で綺麗に咲いている桜やこぶしの木を巡りました。

「昔はよく見たけど、今は中々見にいけないから今日は見られてよかったです！」「ここから見る桜は初めて」と皆さん喜ばれていました。

登別一泊旅行

～登別マリンパーク・伊達時代村へ～

6月14～15日に登別方面へ一泊旅行に出掛けました。

今回の旅行を希望された利用者は6名で、施設としても初めての登別方面への旅行でした。

高速道路を利用し、休憩をはさみながら約4時間半の行程でしたが、無事登別へ到着。登別ICを降りると、地獄谷方面を指さす赤鬼さんが出迎えてくれ、長旅の疲れも一気に吹き飛び、ボルテージも最高に。

初日に観光した場所は、登別マリンパークです。名物のペンギンパレードを間近で見ることができ、職員も含め興奮しました。また、アシカショーでは芸達者「ハルくん」の演技に拍手を送り、ニクス城内の磯のタッチプールでは、ヒトデやカニを触ることができ、とても楽しむことができました。さらにイワシ10,000匹とサメのシンクロウェーブが見られる銀河水槽では、イワシの群れがサメを避けながら泳ぐ大量の魚群のキラメキは、幻想的で見る者の目を楽しませてくれました。

バリアフリールームがある登別第一滝本館で一泊し、2日目は伊達時代村へ行ってきました。入り口でお侍さんが出迎えてくれ、一緒に写真を撮り、入場前からみんなで大興奮。野外アクションショーの「忍者砦」や、大江戸劇場などを鑑賞し、迫力のある演技に魅了されました。

伊達時代村は、一步踏み込めば、そこは時空を超えた江戸時代であり、その時代の建物や街並みが再現され、まるでタイムスリップしたような感覚でした。

参加した利用者からは、初めて訪れる観光地を巡り、お土産もたくさん購入し、「とっても楽しかった」と口々に言われました。

今後も利用者が楽しめる旅行を企画していきます。



ペンギンパレード「こっち向いて～」



様々な深海魚に「ギョ!？」



「忍者砦」見学。忍者は何人じゃ!?



伊達時代村見参!!

喫茶の日

～食堂が喫茶店に早変わり♪～

利用者に挽きたてのコーヒーなどをケーキと一緒に食べていただきこうと、4月6日に『喫茶の日』をオープンしました。

食堂をテーブルクロスやメニュー表を置いて、喫茶店風にし、ショートケーキ・エクレア・モンブランなど様々なケーキや、コーヒー・紅茶・ジュースなどの飲み物を選んで食べて頂く方法は、大繁盛し大変好評でした。

6月には茶道具や畳・野点傘などを準備し、『和風喫茶の日』を行いました。食堂を「和」の雰囲気に変え、点てた抹茶や和菓子を食べて頂き、こちらも大変好評でした。

今後も月に1度程度、利用者に楽しんで頂けるよう、食堂の雰囲気を変えながら提供していきたいと思います。



たまには、こういう日も良いね～



どれにしようかな～?



抹茶の点て方にうつとり

柴田信夫さん演奏会

～サックスの独奏に聴き惚れました～

5月28日に、帯広市の柴田信夫さんによる演奏会を行いました。

柴田さんは、施設で取引のある帯広市の桜杉浦で営業をやっておられ、施設に足を運ばれる度に、趣味のサックスの話を何度も聞いておりましたので、一度利用者にその腕前を披露してほしいと熱烈なラブコールにお応え頂き、今回の演奏会を開くことになりました。

「アメイジング グレイス」から始まり、「上を向いて歩こう」「長い夜」「世界に一つだけの花」など、様々なジャンルから10曲ほど演奏して頂きました。また、持参のCDからカラオケ用の曲を流し、サックスでメロディーを奏で、利用者も本当のカラオケのように皆さんで大合唱しました。

利用者も職員もその腕前に魅了され、聞き惚れた今回の演奏会。また機会があればお願いしたいです。



その腕は確かです!



字幕も作成し、皆さんで大合唱!

家族との集い ～みんなでワイワイ☆～

3月26日に家族との集いを行いました。

今回の家族との集いでは、職員によるパラパラ、施設長と課長による芝居、理事長もカラオケで参加され素敵な姿と歌を披露して下さいました。

また、家族対利用者でゲームを行い、負けたチームは罰ゲームとして変な顔をして写真を撮りました。

とても楽しい集いとなり、大盛り上がりでした。



何から食べようか迷うなあ



ミッキーのパラパラを踊りました☆



ゲーム負けちやうだよ

春の交通安全教室 ～気をつけて渡ろう～

4月20日に、春の交通安全教室を開催。新得町交通安全推進協議会の指導員の方々から、ビデオ上映や標識についてのお話があり、信号機を使って横断歩道の正しい渡り方についての実践を行いました。

横断歩道の正しい渡り方では、数名の利用者が指導員の方に指導されながら横断歩道を渡っていました。



ちゃんと渡れるかな?



手を上げて渡りましょう～

おやつ作り ～美味しく出来るかな？～

今年度1回目のおやつ作りは、4月19日に白玉団子を作りました。

トッピングの「ずんだ」を作るのに枝豆を潰すのが大変でしたが、皆さんで協力して行い、団子を丸めるのは職員が教えてもらうほど皆さんお上手でした。

今年度からは毎月おやつ作りを行うことになりました。昔よく食べたおやつを職員にも教えて頂きながら作って行きたいと思います。



みんなで協力して作りましょう♪



もうすぐ出来るからね～

山菜探し

～山菜採ったどー！！～

去年は雨続きで延期になっていた山菜採りでしたが、今年は天気も良く、山菜採り日和となりました。こごみ、たらの芽、ふき、三つ葉、行者にんにく、セリなどの山菜を沢山採る事が出来ました。午後からは夕食に間に合う様に下処理し、山の幸を美味しく頂きました。



これから沢山採るぞ～



沢山採り過ぎたかな？

地域貢献活動

～法人で様々な活動を行っています～

社会福祉法人厚生協会は、日頃から地元新得町を中心とした地域の皆様に支えられて運営をしており、少しでも地元に恩返しをするべく、様々な形で地域貢献の活動を行っています。

法人の目標である「地域貢献」を具体的な形にする為、各施設において様々なボランティアサークルを結成し、活動しています。

主な活動としては、新得町内の道路や公園の美化活動(ゴミ拾い)を各施設毎に実施したり、国道38号線の環境美化である花いっぱい運動に参加して、植栽マスの雑草除去や水やり、花がら摘みの作業なども行っています。

わかふじ寮においては、毎週木曜日に行われている「新得手話の会」に講師を派遣し、町民の皆様に手話の技術指導を行っています。

また直接的な「お手伝い」ではありませんが、町内で行われるフロアカーリング大会、朝野球、今年から実施されたチャレンジデーなどのスポーツイベント、そばまつりや秋祭りなどのイベントにも積極的に、参加させていただいている。

今後も活動の拠点を拡大しつつ、法人として地域貢献の為、頑張っていきます。



行事のお知らせ

■わかふじ寮

- 8月 花火大会
- 9月 合同運動会
- 10月 文化祭

■屈足わかふじ園

- 8月 夏の夕べ・花火大会
きずなの郷まつり
- 9月 屈足保育園交流会
避難訓練
一泊旅行
- 10月 味覚祭

■やすらぎ荘

- 8月 七夕と花火大会
お茶会
茶道教室
- 9月 合同運動会
新得神社祭
秋の味覚祭
- 10月 施設1泊旅行
紅葉見学
お料理日
施設内ゲーム大会
- 11月 町民芸能芸術祭
帯広外出
鍋の会
長寿の祝

■新得やすらぎ荘

- 8月 七夕と花火大会
- 9月 合同運動会
新得神社祭
秋の味覚祭
- 10月 施設内ゲーム大会
- 11月 長寿の祝
あやつの日
鍋の会

■ひまわり荘

- 8月 夏祭り
花火大会
盆法要
日帰り旅行
- 9月 秋のピクニック
敬老会
合同運動会
秋の交通安全教室
秋(彼岸)法要(法話)
- 10月 新施設へ移転
避難訓練
買い物外出
- 11月 一泊旅行
買い物外出
保育所交流会

共生型ホームさくら2（仮称）建設工事始まる。

4月から建設が始まった「さくら2」は昨年建設した「さくら」の隣に位置してあり、既存のさくら同様に2階建て、1階は高齢者向け2室の他に高齢者、障害者共用の食堂があり、2階は障害者専用のグループホームとなります。総工費は29,757,000円で共生型基盤整備事業の補助金が財源です。

各部屋はバス、トイレ付で玄関は単独にしたマンションタイプの設計で、ミニキッチンも設置されており、簡単な料理もできるようになっています。日中の支援は世話人と呼ばれる職員が配置され、食事の提供を中心に行っていく予定です。

建物は8月末には完成し、開所は10月1日を予定しています。

高齢者については利用希望者を募集する予定ですので、利用の希望や詳細は下記までお問い合わせ下さい。

■対象利用者のイメージ

障害者	日中は障害福祉サービス事業所（わかふじワークセンター）等に通い、作業訓練を行ないながら、地域で自立した生活を希望されている方
高齢者	身の回りの事は自立しているが、1人暮らしには不安がある方 65歳以上で単身の方

■利用料金

	月額	備考
障害者	48,000円	家賃・管理費・食費を含む
高齢者	53,000円	家賃・管理費・食費を含む

※上記の金額は食事3食を提供した場合の目安の金額となっています。

※各部屋で使用する光熱水費(電気・水道・灯油・電話)・家財保険等は実費負担です。

《お問い合わせ先》

障害者支援施設 わかふじ寮

住 所 上川郡新得町西3条北1丁目5-3

電 話 0156-64-5001

担当者 サービス管理責任者 東 貴志



ご寄付・ご寄贈ありがとうございました

平成23年3月から
平成23年6月まで(敬称略)

【新得やすらぎ荘】

新得町 横山 郁也
佐々木路子
吉岡 正
イガラシ サトコ
カトウ ノブコ
清水 靖雄
玉川 一夫
細田 重夫
婦人会・代表窪田武子
届足ディスコダンスの会
西田 孝子
目黒 洋子
町田ミチ子
春日 達夫
清水 輝男
近藤
伊藤 嘉則
小松 健次
横倉 清
鈴木喜三郎
花房 政弘
中高 麗子
堂山 昭子
帯広市 後藤日出也
宮本ゆきみ
札幌市 新岡美代恵
金澤
旭川市 安田美津子
苦小牧市 白川 久夫

【やすらぎ荘】

芽室町 谷保 義明
新得町 千葉 玄昭
札幌市 石川絵理香
美瑛町 堀川 静香

【日帰りサービスセンター やすらぎ荘】

新得町 船戸 利子

【ひまわり荘】

新得町 安楽 ヤス
高橋 正廣
安久津幸雄
千葉 哲男
吉田 幸一
しみず中央薬局
大久保ミツ子
森田ツヤ子
和知 初子
足寄町 佐野 榮一
音更町 山川 茂子
帶広市 梶本 尚里
広尾町 原 光二
恵庭市 桂木 繁
札幌市 赤松 正憲
横浜市 竹内 愛
東京都 桑原 和子
新潟市 太田 和正

【屈足わかふじ園】

新得町 川口 節子
結城トシ子
太田マツ子
岩野 文雄
上遠野亀雄
及川
中谷理容所
屈足消防団
ともしひ会
有新和興産
宮路 禮子
蓑 留美

【法人本部】

札幌市 永井 俊幸
函館市 函館中途失聴者
難聴者協会
足寄町 高橋 敏
旭川市 橋本 弘
苦小牧市 牧野 武司
新得町 花房 政弘
千葉 哲男
清水 輝男
松浦 勝
斎藤八重子

【わかふじ寮】

深川市 須田 有俊
岩見沢市 佐藤 陽一
札幌市 工藤 未吉
平田 敬一
境 幸子
坂口 和成
小樽市 金子 治郎
金子 和令
洞爺湖町 篠原 紀彦
苦小牧市 木村 忠信
三上扶美子
登別市 藤沢 英明
石狩市 小谷内
むかわ町 貴賀サワ子
東京都 浜田 英之
新得町 川崎 勉
戸栗 明
野田 幸恵
中家 邦子
高杉 英俊
芽室町 後藤 幸雄
本別町 今野アサ子
今野 麻子
標茶町 藤井由美子
大山 敏宏
秋田県 横山 繁

社会福祉法人厚生協会では、法人各施設の様子や情報をホームページやブログで公開しています。ご意見やご希望についても電話・Eメールで受け付けています。

厚生協会ホームページ
<http://www.wakafuji.or.jp>

ブログ「ペットのおやつ」
<http://blog.campan.info/wakafuji>
ブログ「屈足わかふじ園日記」
<http://blog.canpan.info/wakafujienn/>

厚生協会E-mailアドレス

wakafuji@netbeet.ne.jp(わかふじ寮)
yasuragi@rainbow.ne.jp(やすらぎ荘)
wakafuji@rose.ocn.ne.jp(屈足わかふじ園)
himawarihome@ivory.plala.or.jp(ひまわり荘)

この広報誌の中で使用させていただいている利用者の顔写真等は、すべてご本人の了承をいただき、掲載しています。

編集後記

今回のトップ記事にも載せました東日本大震災。現在もなお日常生活を送ることが困難な方が多数おられることと思います。被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

また、一刻も早い復興・復旧をお祈り申し上げます。
がんばれ東北！！ がんばろう日本！！

わかふじのおやつ



無着色・無発色・無漂白の、安心・安全にこだわったジャーキーで、消臭・整腸効果のある北海道産の熊笹入りです。



えぞ鹿肉カットジャーキー	75g	298円
ラムカットジャーキー	75g	298円
えぞ鹿肉スライスジャーキー	50g	598円
えぞ鹿肉ロングジャーキー	16本	298円

鹿肉の鉄分は豚肉の5倍以上あり、アレルゲンの少ない希少肉です。鹿肉、ラム肉には脂肪燃焼効果を助けるカルニチンが多く含まれています。鹿肉スライスは鹿肉原料のみで造りました。



しやけ	16本	298円
ほつけ	16本	298円
たら	16本	298円

低カロリー・高カルシウムの魚系ジャーキーは、ロングスティックタイプに仕上げました。

問合せ わかふじ佐幌工場
TEL 0156-64-3135